



上南だより

令和8年4月30日 第2号

江戸川区立上一色南小学校

「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」

【基本】に立ち返る、【基本】を鍛える

校長 三田 智

新年度がスタートして約1か月が経とうとしています。子どもたちは新しい環境に慣れ、元気に学校生活を送っております。休み時間には、新しい先生・クラスメイトと校庭で遊んだり、教室で談笑したりしている子どもたちの姿をたくさん見ることができます。児童や教職員の【笑顔】が、私自身の「元気の源」になっています。

一方、始業式から3週間が過ぎ、緊張がほどけ、「緩み」が見え始めているのも事実です。各学年・学級の授業の様子を見に行くと、姿勢がくずれてしまっている児童の姿、先生や友達が話している時に割り込んで自分の話をしてしまう児童の様子を、しばしば目にします。「緩み」そのものを絶対悪と考えているわけではありません。人間誰しも「緊張しっぱなし」では、気持ちも体ももちませんから。

大切なのは、『メリハリ（使い分け）』。『やるべき時には、キッチリやる！』こと。

子どもたちには、GW明けに、改めて以下の【2つの『せい』】を全校朝会で伝えます。

- 姿勢を【正】すこと
- 【静】かに話を聞くこと

この【2つの『せい』】は、昔から指導されていることですし、当たり前といえば当たりのことです。

でも、「当たりのことをきちんと実践する」…、これがなかなか難しいものです。例えば、「姿勢を一定時間保持する」というのは、実は身体的にも精神的にもたくましくないとできないもの、体幹や耐性の強さが必要です。「相手の話を静かに聞く」というのは、自分勝手ではできません。また、この態度は、相手を大切にする・尊重する心情につながっていきます。

現在のの上南の子どもたちの多くは、上記の2点をとてもよく頑張っていると感じています。しかし、誰しも「緩みが生じる」時があります。それに気付かせるとともに、頑張っていることを認め、称賛・価値付けすることによって、GW明けの教育活動につなげてまいります。

【基本】なくして【応用】なし。学習も生活も、ある程度の【基本】を身に付けてこそ、次のステップ【応用】に進むことができます。逆の言い方をすれば、【基本】をないがしろにしているのは、いろいろなものは積み上がっていきません。「砂上の楼閣」という言葉があります。子どもたちには、時に【基本】に立ち返らせ、【基本】を鍛えていくことの重要性を説いていきたいと考えています。

○22日（金）1・2校時「上南の子まつり」、25日からの週に行う「らんらんフェスティバル」について

各学年の学年だよりにも記載してありますが、上記の「上南の子まつり」、「らんらんフェスティバル」は保護者・地域の皆様の【参観が可能】です。

お時間と状況が許す方はぜひ学校に足を運んでいただき、子どもたちの活動の様子・頑張る姿を御覧ください。